

世田谷区立給田小学校
学校運営委員会通信・特別号

平成24年度 特別号②
平成25年3月18日
世田谷区立給田小学校
学校運営委員会
委員長 井上健
編集 リエソン・オフィス

2年生・生活科の時間

「昔遊び」を1年生に教えよう

みなさんは幼いころ、どんな遊びに夢中になりましたか？「コマ」「けん玉」「めんこ」「お手玉」・・・懐かしい思い出がよみがえってくる「遊び」があるのではないのでしょうか？

こうした「昔から伝わる遊び」には、指先や手首、ひざなどに普段とは違う動きが求められるものが多く、知らず知らずのうちに運動神経を発達させるものや指先が器用になるものがたくさんあります。給田小では「生活科の時間」で、そうした「遊び」を2年生が1年生に教える活動が行われています。



「今日よろしくおねがいします。名人に教えてもらって1年生に教えられるようになりたいです」
子どもたちのあいさつを同じ目線で聞いてくださる地域のみなさん。

「昔遊び」を1年生に教えるためには、2年生が「昔遊び」が得意ではないにしても、テレビゲームは得意でも、「コマ」や「めんこ」はしたことがないという子どもが増え

ており、保護者世代であってもそうした遊びに夢中になった人が少なくなっているようです。祖父母と一緒に遊ぶ機会も減っています。そのような事情を背景に、学校からリエゾン・オフィスに「地域の方がたのお力をお借りしたい」との依頼がありました。授業の目的などをたくさんの方にご理解いただけるよう、チラシを作り、みなさんに参加のお願いをしました。



「名人たちとの給食タイム」
授業が終わり、すっかり仲良くなった「名人」と一緒に給食を食べた子どもたち。どの教室も笑顔と笑い声があふれていました。

1月28日（月）、民生・児童委員のみなさんを始め、約30名の地域の方がたをゲストティーチャーにお迎えし、2年生が昔遊びを教わりました。まずは自分たちが1年生に教えられるようになるための練習です。始めに、先生から「昔遊び名人のみなさん」と紹介がありました。と言っても、全員がプロ級の技を持っている、といっわけではありません。

「昔遊び」の経験があり、子どもたちにはやさしい眼差しで接してくださる方はみんな「名人」なのです。



「おりがみ」
「どんなものを折りたい？」
自分たちで作った見本を指差す2年生。準備万端、やる気満々。

2月12日（火）、いよいよ1年生に「昔遊び」を教える日。そこには練習を重ね、自分たちなりに考えた「遊びのコツ」を1年生に寄り添いながら何度も何度も、やさしく教える2年生の姿がありました。



「あやとり」
上から見て教えてあげようとして、こんなにくっついていました。あやとりではこんな可愛い場面が多くなりました。

先生役となる2年生が、地域の方がたから教えていただいたのは「昔遊び」だけではありません。青少年



相田幸喜さん
2年生と4年生の児童のおじいさまです。「コマ名人」の相田さんは、2年生と1年生の交流授業に来てくださり、その「技」を教えてもらおうと子どもたちが話を聞かせてくれました。

委員のみなさんが、身をかがめ、やさしく自分たちに接してくれたこと。竹とんぼの名人が、失敗してもずっとう見守ってくれたこと。けん玉を上手にできた時には一緒に喜び褒めてくれたことなど、相手への心遣いや周りへの気配りを始め、大切な思いやりの心を学びました。



「お手玉」
名人に教えてもらったようにやさしく1年生に教えていました。初めてお手玉に触れる子ども多いのではないのでしょうか。

後日、地域の方がたに、子どもたちから感謝のカードが送られました。そこには、「やさしく教えてくれてありがとう」「みなさんのように、やさしく教えます」というお礼とともに、「また来てくだささい」の言葉が添えられていました。



「けん玉」
2年生のように上手にたくて真剣に話を聞いていた1年生。「けん玉はひざを使うんだよ」と教えているのかな。

この特別号は、世田谷区から支払われる学校支援コーディネーターの報酬により発行されています。

あやとり

飯田秀子さん 民



・1月28日はありがとうございました。今は6だんばしごができるようになりました。今度は私たちが1年生に教えるのでぜひ見に来てください。

(子どもの感想より)

昔はよく遊んだ「あやとり」もやらなくなると忘れてしまいます。あやとりの本を読んで当日に備えてくださった飯田さん、宮下さん。

この日、取材に来ていらした「せたがや文化創造塾」の卒業生、石田さんは飛び入り参加で教えてくださいました。



はねつき

水間良子さん 青



・「一人はねつき」をうまくやるコツを教えてくださいましてありがとうございます。

(子どもの感想より)

「はねつき名人」3年目、BOPの平田さんが上手に子どもたちに教えていらっしやいました。優しい水間さんのそばには子どもたちが集まってきて楽しそうな声が体育館に響いていました。元バドミントン部の清水とは、40回もラリーが続く強者の男子も出現。



笑顔があふれる授業となりました

こま

岡本文恵さん 民



・「空中でのっけ」のコツを教えてくださいまして。「空中でのっけ」あと一歩までできました。

(子どもの感想より)

「名人」じゃなくて「迷人」だなおしゃつていた吉岡さん。吉岡さんも出利葉さんもさすが！からだで覚えた技は何年経っても健在でした。家で練習を重ね、この日に臨んだ岡本です。



だるま落とし

山本伸子さん 民



・1年生に上手に教えられそうです。

(子どもの感想より)

縦にまっすぐ積むだけではありません。いろいろな形に積んで、遊びが広がっていました。森田さん、山本さん、小川さんと子どもたちの明るい笑い声が聞こえていました。



まりつき

氏原美雪さん B

高橋房枝さん 民



・あんたがたどこさができるようになりました。

(子どもの感想より)

手まり唄「あんたがたどこさ」に合わせて、ボールを足の間にくぐらせます。足を上げるタイミングを教える高橋さん。BOPの氏原さんは子どもたちと一緒に楽しそうに練習していました(笑)。



氏名の後の表示について

- ・民 → 民生・児童委員
- ・青 → 世田谷区青少年委員
- ・地 → 青少年烏山地区委員
- ・保 → 千歳民俗資料保存会
- ・B → BOP
- ・せ → せたがや文化創造塾の卒業生
- ・地域 → 上記の所属以外でお手伝いに来てくださった地域のみなさん
- ・学 → 学校運営委員

- ・リ→リエゾン・オフィス
学校運営委員OBで学校支援コーディネーターとして、今年度は「Q・denWalker」「地域ボランティア」「昔さがし」「昔遊び」など、生活科や総合的な学習の時間のコーディネートをを行った。漢検の運営も行っているボランティアチーム。

当日は写真撮影にご協力いただきありがとうございました。



若林みどり リ

紙ひこうき



・いっぱい教えてくれてありがとうございます。
 ・いかひこうき、オリオン、スフィンクス、いろいろなおり方がわかってうれしかったです。
 (子どもの感想より)



いろいろな形をした紙ひこうきがあるのでですね。次々に折っては飛ばす子どもたち。折り方と飛ばすコツを上手に教える下山さん、市原さん、湊さん。最後にはどの子の紙ひこうきもよく飛んでいました。

めんこ



・強くなれるわざを教えてくださいありがとうございます。教えてもらったおりにやったら1枚とれました。1年生も強くなれるように教えてあげたいです。
 (子どもの感想より)



子どもたちに強さを見せつけ次々とめんこを容赦なく取っていく木川さん、山下さん、横山さん。熱中する子どもたちの歓声が部屋の外まで聞こえていました。

最後には、全員で記念撮影。すっかり仲良くなっためんこチームでした。

地域のみなさまと子どもたちの

おりがみ



・おりがみを教えてくれてありがとうございます。おひなさまはお家にもってかえりました。私のお母さんは「上手につくったね」といってくれました。
 (子どもの感想より)



お雛さまの折り方を教えていただきました。優しく教えてくださいくださる大場さん、麻生さん、今川さんは女の子に大人気。二つも三つも折る子どもも。みなさんからも「楽しかった」の言葉をいただきました。麻生さんは、2月12日の授業にも来てくださいました。

竹とんぼ



・たくさん竹とんぼを作ってきてくれてありがとうございます。
 ・今は高くとばしたり、まっすぐにとばせるようになりました。
 (子どもの感想より)



毎年たくさんの竹とんぼを作ってきてくださる瀧澤さん。飛ばすのには自信があるとおっしゃる杉田さん。PTA会長で、学校運営委員の芝崎さん。みなさんの指導で子どもたちがどんどん上手に飛ばせるようになりました。「見て！見て！」と嬉しそうな声が響いていました。

けん玉



・けん玉を教えてくださいありがとうございます。「飛行機」がすごかったです。ぼくは「もしかめ」ができるようになりました。
 ・ぼくは「世界一周」ができるようになりました。
 (子どもの感想より)



BCPの瀧さんは上級の技を持っています。元校長先生の矢後さんは「指導のプロ」。池亀さんは毎朝校門に立ってくださっているの子どもたちと仲良しです。チームワークの良いけん玉チームでした。

お手玉



・私はお手玉がとても楽しかったです。おかげで「二つゆり」が上手になりました。また来てください。
 ・1年生に教えるのはむずかしそうだけどがんばります。
 (子どもの感想より)



お手玉名人は女の子の憧れの的。終わってからも「私たちと一緒に給食を食べて」と手を離さない子どもがいました。子どもたちと仲良くなった清水さん、杉田さん、田中さんです。

民生・児童委員のみなさま ありがとうございます！

今回の「昔遊び」には、多くの民生委員の方たちに「参加いただきました。民生委員」という「一人暮らしのお年寄りの見守り」というイメージがあります。あまり知られていませんが、民生委員のみなさんは児童委員も兼ねていらして、地域での子ども見守り活動もされています。

給田・烏山地区は東西の2つの地区に分かれ、合わせて42人の民生・児童委員がいます。その中には、主に子どもを担当する主任児童委員が、各地区2人ずつ含まれています。

烏山東西地区の民生委員・児童委員協議会、下山鐵夫会長、杉田昭雄会長にお話をうかがいました。

民生委員の活動について教えてください。

杉田 民生委員は、厚生労働省の委託を受けたボランティアです。ビジネスではなく、法に基づいた「奉仕活動」なんです。団地、商店街など、地域の子によって活動もさまざまです。エルザタワーや久我山カー



烏山西地区 民生委員・児童委員協議会
杉田昭雄 会長

デンヒルズなど新しいマンションができる。世帯数に比べて、民生委員の人数が増員されます。町の成り立ちやその変化に合わせて活動も変

わっていきます。最近では孤独死などの問題もあって高齢者の見守り活動が増えています。

下山 民生委員は、児童委員も兼ねていますので、地域の子とも見守っています。私たちの何人かは、青少年烏山地区委員会の一員として、いも掘り炊事遠足、町の不要な看板やチラシの撤去などに参加しています。また、烏山児童館の乳児の集まりの受付を担当していて、そこにいらした親御さんと言葉を交わすようにしています。

民生委員の仕事は、まさに「ゆりかご」から墓場まで「幅広い範囲を受け持つ」といっていいですね。

下山 そうですね(笑)。ただ、24時間対応というわけにはいきません。自分の生活を大事にしながらかつ活動しています。民生委員は役所と住民のパイプ役として、町の「お



烏山東地区 民生委員・児童委員協議会
下山鐵夫 会長

困りごと」にも対応しています。住民の方に感謝されたときにはやりがいを感じますよ。
杉田 最近 は、防災訓練に参加する等、他の団体と協力することが増えてきました。お互いの団体の活動を理解し、同じ地域を何重にも重なるように見守ることで、現状を把握でき、地域がまとまっていく

のではないのでしょうか。社会福祉協議会の中では、地域福祉推進員として、日赤(日本赤十字社)や自治会、町内会と一緒に活動しています。

幅広い活動をしていただいていることに驚きました。そんなお忙しい中、給田小の「昔遊び」にご協力いただき感謝の気持ちでいっぱいです。

お一人にも授業に参加していただきましたが、いかがでしたか？

杉田 「ママは私よりも上手な子がいきましたよ。子どもたちが自分から近づこうとしてくれました。短い時間でも一緒に遊ぶことで、子どもたちの心の中に地域の人として我々のイメージが出てきたらうれしい。学校という枠の外で、地域の人と一緒に竹トンボをナイフで削って作るころからやるような活動がのびのびできると、もっと身近な関係になれるのかな。

実際に地域で子どもたちの見守り活動をされている中で、子どもたちの変化が気がついたことがあれば教えてください。

下山 今の子どもたちは、ナイフを使う、米を研ぐといったような経験をする機会が少なくなっています。我々の世代は、いろいろと経験してきているので子どもたちに自分の生活体験を伝えられます。小中学校で行われている「あいさつ運動」にも協力していますが、何年か続けてきて、子どもたちの口からあいさつが自然に出てくるようになってきました。「継続は力なり」で、地道に続けることが大切です。

杉田 給田小学校には古民家があり資料館には農具が展示してありますね。

この地域には子どもたちに昔の生活を伝えようという気持ちがあります。今回の「昔遊び」のような取り組みも、民生委員だからやる、どの団体だからやるというのではなく、役を越えて枠を越えていかなければと思います。



給田小担当・主任児童委員

岡本文恵さん

大重照子さん

給田小の元保護者のお二人。学校行事に来賓として出席したり、地域のイベントに参加することを通して、この地域の子どもたちを見守ってくれています。

取材を通して、民生・児童委員の方々がたは子どもたちの健やかな成長を見守り、地域に愛着を持っているということが伝わってきました。

先日行われた学校協議会では、杉田会長をはじめ、出席された民生・児童委員のみなさんから「昔遊び」で子どもたちの交流を楽しんだ様子が話されました。会議に参加されていた方たちからも「自分が地域で子どもたちのために何ができるのかを考えた」「子どもが地域の活動に関わってくれ」と大人も元気が出る「などの想いが語られ、地域の子どもが元気に心豊かに育ってほしい」という願いのあふれる学校協議会になりました。

来年度も「地域の子どもを地域で育てる」ことを、子ども、学校、地域の誰もが実感できるようなコーディネーターを目指したいと思っています。

リエゾン・オフィス